

下赤名 集落実態調査まとめ

10年後の理想像

- ・老人マンションができてい
- ・河川敷の景観が守られている
- ・協力して草刈りや雪かきができる地域
- ・外灯がたくさんある（防犯対策）
- ・若い人が返ってくる
- ・特産品をつくる（ブランド化）
- ・休耕田がない地域
- ・子供が増える
- ・下赤名の拠点施設ができる
- ・働く場所が増えている
- ・空き家の無い地域
- ・自治会の合併
- ・集える場所がほしい
- ・公園がある

安心して暮らすために

- ・役の整理（自治会の合併）
- ・外灯の数を増やす
- ・子どもの遊べるところをつくる
- ・先々ではサロンの一本化
- ・自主防災組織の設立

生活機能の確保



コンビニ

買い物、ATMなど
生活用品等が購入できる
移動販売車も配備



赤名湿地

幻のトンボ
ハッチョウトンボの
生息地

魅力的な
地域資源

下赤名地区の課題

- ・自治会の役が多い
- ・下赤名全体で交流できる場所がない
- ・外灯が少なく夜が怖い
- ・病院が遠い
- ・高齢者には買い物が不便
- ・担い手がない
- ・公共交通が不便

下赤名地区にあるもの

農業・産業振興

- ・特産品をつくる（昔からある野菜など）
- ・無人市をつくる
- ・農業の法人化



子育て支援

- ・病児保育できる場所をつくってほしい
- ・子育て経験者のネットワークづくり

拠点施設

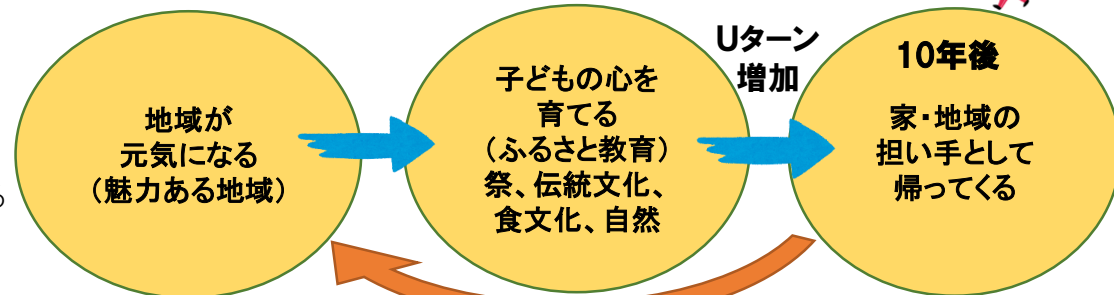
- ・空き家などを借りて集会所にする
- ・みんなで楽しく集まれる場所が欲しい

地域の魅力化

- ・神戸川沿いにウォーキングロードをつくる
- ・赤名湿地に人を呼び込む
- ・高齢者が興味を持つような施設をつくる
- ・家庭の味自慢大会を開催
- ・地域でイルミネーション



下赤名で地域づくりを頑張っていくと...



U・Iターンを増やすために

- ・空き家を活用したチャレンジショップを貸し出す
- ・他出した人が本当にUターンしたいのか調べてみる
- ・山村留学を受け入れる（子ども）
- ・定住住宅を建てれるような土地を用意する
- ・地域の魅力を発信するイベントを開催



Uターン者の定住にもつながる！

下赤名

理想の地域像に向かって進んでいくためのタイムスケジュール

すぐにできそうなこと

【すぐにできそう】

- ・ 集金常会で話し合う
- ・ みんなで協力して雪かきや草刈りをする
- ・ 神戸川沿いにウォーキングロードをつくる（自分たちで）
- ・ 下赤名を町外へPRする
- ・ 特産品をつくる！
- ・ 赤名湿地に人を呼ぶ

【ちょっと時間がかかる】

- ・ 地域の現状等について調査・協議をする調査員をつくる
- ・ 家庭の味自慢大会を開催する
- ・ みんなで楽しく集まってお酒が飲める場所をつくる
- ・ 無人市の運営
- ・ 営農組合の一本化
- ・ 自主防災組織の立ち上げ
- ・ 町外から人に来てもらうためのイベントを開催する

【すごく時間がかかる】

- ・ 休耕田をなくし、様々な農作物をつくる
- ・ 中学野球硬式化
- ・ オリンピックを狙ってマイナー競技の普及
- ・ 山村留学生を受け入れる
- ・ 空き家を活用してチャレンジショップ
- ・ 高齢者が興味を持つ施設をつくる

時間がかかること